

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

12月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

自分も人も大切に

校長 岩崎 健治

冬晴れが心地よい師走の頃となりました。学校もあと残すところ3週間あまりで冬休みを迎えます。コロナ禍の中、運動会以降には、健康、安全に配慮しながら、各学年で外部の人との交流や地域のボランティア活動、校外の体験活動や中学校の部活動体験、他校とのスポーツ交流など様々な場面で、人との交流が増えてきました。

12月4日から「人権週間」が始まり、全国各地で人権啓発活動が行われます。本校でも、11月28日から「人権週間」として全校で取り組み、人権について考えていきます。朝会の話や人権講演会、人権標語などに取り組みます。

朝会で、次のような話を子どもたちにしました。『私たち一人ひとりには、自分の意思や努力で変えられない多くのことがあります。例えば、この世に生まれたとき“いつ”生まれてくるのか、“どこ”に生まれてくるのか、そして、どのような“家族”のひとりとして生まれてくるのかということ、自分では決めることはできません。生まれた後、どのように育てられるかということも、ほとんどの場合、自分では変えられません。でも、私たちは人と付き合うときに、その人そのものではなく、「生まれた国」や「生まれた場所」「顔つきや体形」「家柄」などにこだわってしまうことはないでしょうか。「あの人は日本人ではない」「あの人は、普通と違う」などとその人そのものの特徴や性格とは関係のないところで差別をしたり、傷つけたりしてしまうような行動をとってしまっていないでしょうか。こうした「差別」や「こだわり」は、人を傷つけることにつながります。

このようなこととは反対に、誰もが生まれながらにして人間らしく幸せに、安心して心豊かに生活できる権利を人権といいます。人が人として、その社会の規範の中で自由に考え、自由に行動できる権利です。すべての人が生まれながらに持っている権利なのです。家でも学校でも地域でも、みんながこの人権を大切にして、誰も差別を受けることなく、みなさんが安心して豊かに生活できることを願っています。そのためには、みなさんとで友達のことを考え、相手に対する思いやりをもつことが大切です。生まれた場所や生まれた家柄、体形や顔つきに関係なく、相手に対する優しい気持ちをもつことが大切です。そして、自分も人も大切にしてほしいと思っています。』



《図書館サポーターの方による飾りつけ》

今後も学校教育の様々な場面をよい機会ととらえ、人を思いやる優しい気持ち、自分も人も大切にする気持ちを伸ばしていけたらと思います。

今年も残すところ1ヶ月あまりとなりました。保護者・地域の皆様には多くの場面でご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。

子どもたちの安全・安心を第一に考えながら、日々の学習活動の充実や人への思いやりを大切に、教育活動を進めて参ります。そして、誰もが安全・安心で、元気に、豊かな気持ちで年末・年始を迎えることを心より願っております。